

# 朝日新聞仰天掲載 台湾を「核保有国」に分類

朝日新聞が、北朝鮮の核実験を受けて掲載した地図で、台湾を「核保有5大国」に分類していたことが問題になっている。台湾の外交窓口は「おかし。厳正に申し入れたい」と反発している。台

か。それとも、中国の一部と考えているのか。注目されているのは、朝日新聞5月26日朝刊の6面に掲載された「核兵器をめぐる現状」という地図。「NPT(核兵器不拡散条約)で認められた核保有5大国」として、米国とロシア、英国、フランス、ロシア、中国が赤に色づけされているが、何と、台湾まで赤くなっているのだ。

## 外交窓口「反発」保有国ではないし、中国の一部でもない

台湾は、面積3万6000平方キロで九州より少し小さい島。第2次世界大戦が終結した1945年以降は一貫して中華民国の統治下にあるが、49年に成立した中華人民共和国(中国)も統治権を主張している。日本政府は72年の日中共同声明で、台湾を自国の

領土とする中国の主張を「十分理解し、尊重する」としたが、認めただけではない。政府は2005年11月、「台湾の領土的立場については、台湾の領土的位置付けに關して独自の認定を行わない」とする政府見解を閣議決定している。

今回の朝日新聞の地図について、日本における台湾の外交窓口機関である台北駐日経済文化代表処の朱文清広報部長は「それはおかしい。台湾は核保有国ではないし、中国の一部でもない。これはハッキリしている。立場とも台湾の立場とも違う。中国の『台湾は中国の一部』という言い分が反映された地図ではないのか。これまで朝日新聞については中国寄りの報道姿勢が指摘されてきたが、その現れかもしれない。

「台湾が『核保有5大国』に色分けされていた朝日新聞の地図(台湾を囲む点線は分かりやすくするため本紙で追記)



い」と分析する。台湾の領土や主権に関しては08年1月、出版・教材大手「学習研究社」の子会社が中国で生産していた地球儀が、中国政府の圧力を受け、台湾を「台湾島」と表記し、音声案内では「中華人民共和国」と表現していたことが発覚。「不適切な表現・表記があった」として地球儀を販売中止し、子会社は解散した。今回の問題について、朝日新聞広報部は2日夜、「台北駐日経済文化代表処からの申し入れがあり、当社としての見解を丁寧に説明する予定です」とのコメントを文書で寄せた。関係者の情報を総合すると、どうも地図はミスではなさそうだが…。

### ミスではない?

「不適切な表現・表記があった」として地球儀を販売中止し、子会社は解散した。今回の問題について、朝日新聞広報部は2日夜、「台北駐日経済文化代表処からの申し入れがあり、当社としての見解を丁寧に説明する予定です」とのコメントを文書で寄せた。関係者の情報を総合すると、どうも地図はミスではなさそうだが…。